

5/17



## 松江市歴史のまち歩き 「小泉八雲・セツのゆかりの地巡り」

松江のまちの歴史や文化を楽しく歩きながら学ぶ「歴史のまち歩き」。

今回は小泉八雲旧居や城山稲荷神社を巡りました。「歴史のまち歩き」は10月にも雑賀や美保関で開催予定です。

申込方法など詳細は市ホームページをご覧ください。



〈市HP〉

5/23



## 連続テレビ小説「ばけばけ」 松江ロケ報告会

ヒロイン・松野トキ役の高石あかりさんと  
レフカダ・ヘブン役のトミー・バストウさん

小泉八雲の妻・小泉セツがモデルとなる、2025年度秋放送の連続テレビ小説「ばけばけ」。

ロケが21～22日に「八重垣神社」にて行われ、小泉八雲とセツゆかりの地である「城山稲荷神社」にて報告会がありました。おふたりが撮影時の様子や松江の印象について語りました。

おふたりのコメントは以下URLまたは右のQRコードから→

<https://www.nhk.jp/g/blog/k-0o05kidd/>



〈NHKドラマHP〉

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。  
QRコードを読み取って、  
空メールを送ってください。



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

松江まちかど

# ダイアリー

## 市報 松江 目次

- 02 松江市×2025年日本国際博覧会
- 04 松江まちかどダイアリー
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」/  
町自連だより
- 06 食べごろ松江/シリーズ松江の匠
- 07 松江の皆さんこんにちは。/マイルポート
- 08 インターハイがはじまります!
- 09 7年12月1日から宿泊税を導入します/  
文化財指定地の現状変更には手続きが必要です
- 10 参議院議員通常選挙
- 12 小型充電式電池(リチウムイオン電池など)  
正しく捨てよう!
- 13 国民健康保険資格確認書などを郵送します/  
7年度国民健康保険料率が決まりました
- 14 すべての後期高齢者医療保険加入の人へ  
資格確認書を郵送します
- 15 7年度の介護保険料をお知らせします
- 16 子育て・健康・福祉
- 18 調整給付金(不足額給付分)のお知らせ
- 19 8年度に採用する松江市職員(正規職員)  
採用試験を実施します/情報ひろば
- 26 てかけてごしない〜イベント情報〜

# 上を向いていこう

Vol.45



## 大阪・関西万博で 松江をPRしています！

現在、大阪市では「2025年日本国際博覧会」いわゆる「大阪・関西万博」が開催されています。日本での万博開催は、2005年、愛知県での「愛・地球博」以来、実に20年ぶりとなります。

この機会を大いに活用して、**松江市の魅力を国内外にPRするため、5月28日～6月1日**には、内閣府が主催する「地方創生SDGsフェス」に、**小泉八雲と八重垣神社をモチーフにしたブース**を出展しました。ブース内に八重垣神社の「鏡の池」を再現し、来場された方には古い紙に硬貨を乗せてご縁の運を託していただきました。6月1日のステージイベントでは私が登壇して、松江城天守国宝指定10周年を記念する「お城EXPO」の開催や、NHKの連続テレビ小説「ばけげん」の放送開始についてアピールしました。

さらに、デジタルウォレットパーク内で万博協会が主催する常設展示「デジタルラベルゾーンプロジェクト」では、**松江城、宍道湖、由志園の情景が360度体感できるVR（仮想現実）動画が上映**されます。

ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。  
Towards a brighter future for all



〈ステージで松江をPRする上定市長(右)〉

また、松江市が役員を務める「温泉ツーリズム推進協議会」が、**9月26日(金)～28日(日)に足湯体験コーナー**を出展します。9月27日(土)には、私も会場に向き、玉造温泉と松江しんじ湖温泉の歴史や効能などについてプレゼンさせていただきました。

なお、**アイランド館**には、**小泉八雲にまつわる展示**がありますので、ぜひお訪ねください。大阪・関西万博を、松江市にとっての有意義な機会とすべく取り組んでまいります。万博にお出掛けの折には、ふるさととの展示をのぞいてみてください！

※松江市のPRブースの詳細は本紙2、3ページをご覧ください。

## 町自連だより 新たな団地に自治会組織を 立ち上げる！

八雲町自治会連合会  
会長 林 繁幸

八雲町には、新たに40世帯の団地が誕生しました。八雲町自治会連合会役員で、八雲町はどんな町で、生活するにはどのような決まりがあるかなどについて、新たな団地にお住まいの方へ説明会をすることにしました。そして、団地内の全世帯に八雲公民館へ集まっていたきました。説明会では、初対面の方々にも最も必要なものは地域コミュニティであり、協力して生活する必要性をお伝えした結果、全世帯で自治会組織を作ることとなりました。組織を結成する決め手の一つには、こどもの見守り、こども会を自治会組織の中で行っているかどうかと提案したことがありと考えます。



〈自治会加入説明会の様子〉



# 食べごろ松江

しまつえ旬もの食べてごせ

Vol. 10



## 地魚の王様「イサキ」

暑さが本格化するこの時期。多くの魚が冬に旬を迎えるため、魚は旬ではないと思われがちですが、実は、夏に旬を迎える魚も意外と多くいます。今回は、そんな中からおすすめの地魚「イサキ」を紹介しましょう。あまり聞き馴染みがないかもしれませんが、全国的に広く生息し各地で親しまれる魚で、本市を含む島根県は全国有数の産地となっています。中でも本市の沿岸には、イサキが好む海藻が茂る岩礁帯の好漁場が多く、主に定置網や一本釣りイサキの漁獲が行われています。産卵期を迎え、白身が上品な脂がのこの時期には、高級魚として取引されるほどの食味で、刺身はもちろん、煮ても焼いても揚げても美味しくいただけます。

ほかの魚では「目が澄んでいるもの」が目利きの基準よく言われますが、イサキは、目が曇ったものが多いため、身の厚さや色艶などが選別の基準とされます。身が厚く、肥えずんぐりした形で、金色がかつたものがよく脂がのつており、エラの色が鮮やかで皮の表面に艶があるものがより新鮮とされますので、ぜひ参考してみてください。



〈新鮮なうちに出荷されるイサキ〉

写真提供：笠浦大敷網漁業株式会社



〈脂のりが抜群のイサキ〉

写真提供：先島丸 奥 広樹氏

どんな料理にもおすすめのイサキですが、新鮮なものはやはり刺身がおすすめ。身だけではなく、皮目にもよく脂がのつるため、皮は引かず、皮目を強火で軽く炙っても絶品です。また、鱗がほかの魚と比べて薄いので、松笠揚げにしても楽しめます。魚自体の旨味があるため、薄めの味付けがおすすめで、シンプルに塩を振りするだけでも十分美味しくいただけます。そのうえ、摂れる栄養素も魅力で、特にDHAやEPA、ビタミンEが豊富です。

食べて美味しい、身体に嬉しいイサキ。鮮度が落ちやすいイサキですが、漁場が近い本市では、鮮魚コーナーで新鮮なイサキを手に入れることができます。脂がのつた旬もの「イサキ」をぜひ手に取ってみてください。

【この記事に関する問い合わせ】 水産振興課 55-5636

市は長年にわたり地域産業の発展に貢献された技能者を表彰しています。

## シリーズ「松江の匠」

令和6年度 松江市手作り産業優良技能者表彰

安部 啓一

No.3

松本蕎麦店(白濁本町)

(奨励賞 受賞)

推薦団体：松江蕎麦組合

匠は出雲大社近くの蕎麦屋で生まれました。しかし高校卒業後、母親の他界を機に実家のお店を閉めることとなり、その後は趣味で蕎麦屋巡りをしながら、蕎麦粉を分けてもらい蕎麦打ちや出汁作りをしていました。その中で、48歳の頃松江市で江戸時代から続いていた「松本蕎麦店」を、連続テレビ小説「だんだん」の撮影セットを用いてもう一度オープンできないかという話が舞い込んできしました。匠はチャンスだと思い、これを引き受けたことが、今のお店の始まりでした。



長谷川 三芳

No.4

Glass house pase(西津田一丁目)

(奨励賞 受賞)

推薦団体：MATSUE流の会

匠がガラス工芸に携わったのは、10代の頃からでした。美術の大学を卒業後、専門学校に通い、本格的にガラス工芸のさまざまな技法について学びました。専門学校を卒業すると、東京の吹きガラス工房のガラス教室で作り方の指導を行っていました。地元に戻ったからは、アークセサリー工房「Glass house pase」で作品を制作しながら、こども園でガラス教室を実施しており、職人としての技能を生かしながら、講師としてもその力を発揮しています。匠は、「ガラス制作を行っている中で、自分が作った物がお客さんの手に渡ることにももちろん嬉しいが、教えたことももちろん嬉しい」と語り、先で声をかけてくれることがあり、こどもたちの記憶として残っていることが特に嬉しい」と語りました。



【この記事に関する問い合わせ】 ものづくり産業支援センター ☎60-7101

## 松江の皆さん こんにちは。



かつら しん  
**桂 伸べえ**

1990年1月23日、松江市生まれの35歳。古江小学校、湖北中学校、松江北高校、静岡大学農学部に進学。2013年、23歳のときに今の師匠である桂伸治に入門。2017年二つ目昇進。

はじめまして桂伸べえと申します。落語家をやっております。落語芸術協会という団体に所属しております。いきなり落語家と言われても、何だこの人はと不審に思われる方もいらっしゃるでしょう。落語の存在は知っていても、聞いたことがないという方も多いでしょう。私も松江に住んでいたときには落語を全く聞いたことがなかったです。大学生のときに、はじめて落語と出会いました。落語を聞いているうちに自分でも何を思ったか今でははつきり覚えていますが、やってみたいという気持ちになり、落語家になりました。誰かの役に立ちたいみたいな高尚な志があればよいのですが、そういうものは全くありません。本当にありませぬ。今となっては自分でもよく思い切った決断をしたなと思っております。

落語は本当に面白いです。知れば知るほど面白いです。例えば、同じ噺でも演者によってかなり印象が変わります。有名な「時そば」という演目でも、落語家が百人いれば百通りのやり方があります。聞き比べるだけでも相当面白いです。こんな噺があるのかとびっくりするような噺もたくさんあります。令和に一人の人間が、映像や音も使わずに座布団に座ってしゃべるの聞くだけの娯楽が存在しているだけで奇跡です。ここで勘違いして頂きたいのが、決して私の落語が面白いと言っているわけではありません。これは重要です。落語家になったといってもまだまだ無名です。今は東京に住んでおり、いわゆる寄席といわれるところに出演させて頂き精進しております。私は現在、二つ目という身分です。あと数年で真打に昇進するという段階です。よりいっそう精進しなければならぬ時期です。前述のとおり松江では落語を聞く機会がありませんので、そういう機会が増えればいいなと思っております。どこでも落語ができますので、ご興味のある方は私のところへぜひご連絡をお願いします。

「東京松江会」への入会者を募集しています。関東地方在住の人をご紹介いただける人はご連絡ください。  
〒140-0001 品川区北品川1-1-16 第2小池ビル6階 様さんびる内 東京松江会事務局  
☎090-1188-0776 (幹事長 境 真樹) ✉tokyomatsuekai@gmail.com 東京松江会ホームページ→



## まちをよくする マイルレポート

## 夢を応援し合うコミュニティ!

ミライソウゾウ会議

乙部

宏隆

私たちミライソウゾウ会議は、2022年に松江市の総合計画「MATSUE DREAMS 2030」の策定をきっかけに立ち上がったコミュニティ(任意団体)です。

コミュニティのメンバーは、市が主催した連続講座に参加した高校生から40代までの市民です。講座の終了後もつながりを保ち、仲間の挑戦を応援し合っています。

私自身は3年前に1期生として参加し、多くの仲間に出会いました。その後、刺激を受け島根大学で社会教育士称号取得の挑戦や、地域のこどもたちに働く楽しさや大切さを伝える「はたらくるま」というイベントを開催してきました。

今年度、コミュニティは4期目を迎え、約50人のメンバーが参加しています。ここでは、そんな仲間たちの活動の一部をご紹介します。ミライソウゾウ会議を

きっかけに、「人力車まつ笑」やゲストハウス「余白」、大学生によるスタートアップなど、新しい事業が次々と生まれています。また、「しまねだんだんオペラ」の開催、黒田せり(松江市の郷土野菜)の魅力を発信する活動、スポーツトレーナーによるヘルスツアアの企画など、メンバーの思いを起点とした新しいまちづくりも形になりつつあります。

こうしたご縁から、こどもたちが主役のお祭り「ミライソウゾウゆめまつり」の開催、島根大学附属義務教育学校と連携した「まつえ土曜夜市」への出店など、コミュニティ一丸となってまちづくりの機会も増えてきました。さらに昨年度からは、大橋川に浮かぶ無人島・狐森島(きつねもりしま)の開拓にもチャレンジしています。

今後もミライソウゾウ会議は、市民の皆さんと共に歩む「まちづくり」を続けていきます。



〈ミライソウゾウゆめまつり〉



〈成果報告会〉



〈ミライソウゾウ会議Instagram〉